

今月は、大分県社会福祉協議会が取り組んでおられる障害者の皆さんへの支援活動の取組みをご紹介します。また、能登の災害から1年目を迎え、能登の魅力がたくさん詰まった写真集、

Photo&Message「いとしの能登よみがえれ！」 ～ボランティアの能登ノート～が刊行されました。

是非、手元においてご覧いただきたいと思います。

ご注文はアレルギー支援ネットワーク事務局か、栗木までお願いいたします。

みなさま、こんにちは。大分県社会福祉協議会の村野です。今日は、3月8日に開催しました寺子屋事業「障がい者の防災を考える」の参加者に行いましたアンケート調査の集計を添付します。現在、テープおこしをし、報告書を作成中ですが4月末までには完成の予定です。完成品は名古屋の事務局に送付致しますので、5月の総会ではご覧頂けることと思います。

また、これを受けて今年度は具体的に避難経路や避難所の点検、福祉避難所として備えておいて欲しいモノ（こと）を当事者の目線で調べ、提案していきたいと思っています。それとともに、地域を限定して地域の支援者を発掘する活動を展開したいと考えています。今年は予算が潤沢にないので”ゆめ風基金”さん等の助成を受けようと企画書を作成中です。

報告会でNPO法人自立支援センターおおいの代表の米倉さん（ご本人も電動車いす使用者）は、災害時の対策が必要なのは十分にわかっているが、障がい者自立支援法の問題や毎日地域で生活するための障害があまりにもたくさんあるので、災害時の対応に意識が向かない障がい者が多いと話していました。だから、自分たちの組織が災害時の活動を中心的に継続してやることは無理だと言われました。しかし、何処かが行う活動に協力して年に何回か活動に参加し、実行委員会等で協働することはできるとの事でした。施設を出て人間らしい生活をしたと思って、仕事がなければ無理だし、生活保護を受給しながら生活するには家賃が3万5千円しか許されていないそうで、そんな家賃の賃貸はないしあったとしても木造の古いアパートで、車いす生活者には無理だそうです。何えぼ何うほど、多種多様な事例があり本当に大変だ！と思いつつも一歩一歩進むしかないと思います。

みなさんの地域でもこんなことを行っているという情報等がありましたら教えて頂きたいと思います。

大分寺子屋アンケート集計

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
大分県ボランティア・市民活動センター 村野 淳子
〒870-0907 大分市大津町2丁目1番41号
開所時間 8:30～17:15（月～金）
TEL: 097-558-3373
FAX: 097-558-1296
URL: <http://www.oitavoc.jp/>

『能登の魅力がたくさん詰まった写真集』

Photo&Message 「いとしの能登よみがえれ！」 ～ボランティアの能登ノート～
が、震災から1年を迎えた3月25日に刊行されました。

- －震災当時、ボランティアとして能登に駆けつけた
- －今は都会にいるが、故郷は能登だ
- －神社仏閣、伝統建築を見て回るのが好きだ
- －祭りを見ると踊りたくなる
- －日々あくせく働いていて余裕がない

そんなあなたにお勧めします。写真集の表紙をぜひ下記ブログでご覧ください。

<http://www.npo-aichi.or.jp/shintuna/>

--- (刊行チラシより) ---

”地震なんかに負けない！能登を応援したい！…みんなの思いをのせて”

2007年3月25日に発生した能登半島地震。

以来、活動を続けているボランティアの手によって、本書はつくられました。被災地に入ったボランティアは能登のファンになったのです。空や海、能登の人々のたくましさ、優しさ…。人々が語る暮らしや歴史にも魅せられていきました。震災後の能登を歩き、復興へと歩みだした人々と触れ合い、能登の雄大な自然や風土を伝える、メッセージいっぱいの写真集に仕上がりました。心からの能登へのエールをこめて。

Photo&Message 「いとしの能登よみがえれ！」～ボランティアの能登ノート～

B5版 56ページ

定価 1500円

執筆・プロデュース／村井雅清

写真／中山雅照

企画／震災がつなぐ全国ネットワーク

※10冊以上のご注文から送料無料となります。

お問い合わせ、ご注文は：下記に直接(震災がつなぐ全国ネットワーク神戸事務局)にお申込みいただくか、アレルギー支援ネットワーク事務局(中西)へ fax (0564-55-5702)、または、メール(nakanishi@alle-net.com)でお申込ください。

お申込み先；

震災がつなぐ全国ネットワーク神戸事務局(被災地NGO協働センター)まで。

電話：078-574-0701 FAX：078-574-0702

email：ngo@pure.ne.jp

3. 「歯科材料アレルギー治療の健康保険講座」(その5) 『菌田先生』

～春來たりなば虫歯の季節?～

小学生のお母さんが心配しきりで虫歯治療のご相談に見えました。いろいろ言われるけれども、一体、アマルガム(水銀合金)とレジン(合成樹脂)のどちらが良いのですか？もっと良いものもあると聞いたことがあるけど、何の事か分かりますか？と、勉強熱心な姿勢に、思わず真剣にその背景(ワケ)を尋ねます。すると、以前にお医者さんからアトピー性皮膚炎と言われたことがあったそうです。鼻もわるいとのこと。それが、アレルギーかどうかはわかりませんが、鼻づまりはかなりのもの、鼻で息ができず、いつも寝ている時まで口を開けて呼吸していることがわかりました…。…ナルホドですね。皆さん、鼻づまりがお口の中の病の原因になること、ご存知でしたか？

少しだけ説明しておきましょう。頬の内側や舌や歯茎の粘膜がその健康を保つためにはいつも濡れたような湿った状態でなければなりません。長い間、口だけで呼吸しているとそれらの粘膜は乾いてしまい、傷がつきやすくなって口内炎ができ、歯を虫歯から守ろうとする仕組みや唾液による免疫の働きも弱まります。それで、お口の病、虫歯！も増えるのです。

～アレルギー性鼻炎のお母さん、手を挙げて下さ～い！～

あなたは、鼻炎がひどくなると歯磨きした時に歯茎から血が出ませんか？
そうです。ついでに言えば、歯周病もその最たる疾患なのです。まとめてみます。口呼吸が、特に睡眠中に増えると虫歯や歯肉炎が増えやすくなります。アレルギー性鼻炎の季節は、進行が止まっていた虫歯や歯周病が突然息を吹き返してくる季節でもあるのです。まさに歯の虫たちも目を覚ます芽吹きの時です。十分に気をつけるようにして下さい。

～さて、結論は…～

ご相談のあった詰め物の材質ですが、最近はハイブリッド材料と呼ばれるものがアレルギー体質の方々の治療に使われています。私自身もお勧めしますが、残念ながら健康保険では使えない素材です。健康保険が使える材料にレジン(合成樹脂の一種)がありますが、ハイブリッド材料に比べると壊れ易い欠点があります。アマルガムは水銀による環境汚染の面からも特別な事情がない限り、特にアレルギー体質がありそうな人は使用を控えましょう。患者さんの中には、「材料選択をまけてよ。(ハイブリッド材料を)保険で頼むよ。」とか、「差額分を払えばできる。」と思って治療に見える方もありますが、健康保険医療の約束事で私達、全国の健康保険医は誰もそうしてあげることができません。だからこそ、実費部分で高額になりやすい歯科治療に『一部の金額でも、できれば全面的に公的な補助をして下さい！』と、医療改善へのご署名の協力など各方面に訴えているのです。

～体内環境改善計画という発想を持ちましょう～

誰もなりたくてなったアレルギーではありません。生活習慣病とは違う体質的な疾患なのに…。(でも、虫歯はあなたにも責任ありますよ。)/歯の詰め物などは人工物を生身の体に埋め込んでいることに同じく、材料から唾液中に溶け出した物質によって、時には体内の「自然環境」に影響を与えることがあります。だからこそ、あなたのカラダの中の大自然を大切に守り抜いて欲しいのです。(つまり、虫歯つくるな～！)/

—まさに、アレルギーっ子たちは環境の申し子です。地球が大好きなみんなで応援すべき素晴らしい仲間なのです。—

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会ニュースNO. 7が事務局に送られてきました。

藪田先生にメルマガの原稿を書いていただいています。歯科医療にアレルギー対応なども求めるため、昨年来から参加して、取り組んでいるところです。

6月1日に総会が予定されています。どなたも参加いただけるようですので、読者の皆様でお話を聞きたいという方は、是非ご参加ください。(担当：栗木)

各 位

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会ニュースNO. 7添付致します。

尚、第2回定期総会を下記の通り開催致します。

記念講演の岡崎先生は大変楽しくためになるお話をして頂けます。今からご予約下さい。

日時：2008年6月1日(日) 午後1時～3時

会場：愛知県保険医協会・伏見会議室

(名古屋市中区錦1丁目13-26 三井生命名古屋伏見ビル9F)

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会事務局 原田知弘

4. 理事のつぶやき 『栗木理事』

雑感(1年をふりかえって)

理事(総務担当) 栗木成治

みなさま お元気でしょうか。

早いもので、1年の活動の区切りが、「もう！」過ぎ、あちこちの花の便りが聞かれる季節となりました。この1年をふりかえると、顧問・理事の皆様や「アレルギー大学」での講師の皆様、運営を支えていただいたスタッフ、受講生の皆さん、又多くの会員の皆様など実に多くの方々に支えていただいた年であったと感慨ひとしおです。

アレルギー大学の講師の皆様は「安普請でよくもここまで働いていただける」と冷や汗の思いをしながら、しかし、理事のある先生から「とことん、タダ同然で、こき使う(笑)NPO法人」と紹介されるおかげで(笑)、実によくご協力いただけて感謝！感謝！です。

アレルギー支援ネットワークの中心的な事業「アレルギー大学」は200人以上の受講生の皆さんが参加され、私たちも多くのことを学びました。どの講師の方も異口同音に「受講生の熱心さ」に感心され、私たちスタッフも多くの場面を通して単に「アレルギー大学」の主催者というより一緒に成長できる「学び舎」としての実感を強くしています。

アレルギー大学の運営、特に財政面では、現在「東海ろうきん」様や「panasonic」様などの企業助成金で支えられています。こうした助成金も単

にお金の援助を受けているという関係だけでなく、中間的なふりかえり（総括と評価）を通して私たちスタッフが学ぶことも多く、お金以上の「知の財産」を分けていただいているというのが実感です。

助成金をいただくと、必ず、授与式などがあるのですが、その中で行われる各団体の活動紹介は大いに学ばされます。どの団体も真剣な取組みなのは当然でしょうが、「人が生きる活動」というのはこういう取組みなのだなあ・・・とか、「ネットワークを生かす」取組みなどなど多くの団体のチャレンジは教訓深いものばかりです。こうした会議に出せていただけるのもスタッフ冥利に尽きるということです。

今年はアレルギー大学だけでなく、顧問の宇理須先生などのご尽力で12月早々の「小児アレルギー学会」、「皮膚アレルギー学会」など大きな取組みへの参加も出来ました。又、「ひやりはっと事例集」に見られるような「特筆する」取組みに参加できたのは、宇理須先生ら多くの方々のお力添えによるものとおもいます。また、なにより、アンケートにご協力いただいた各会の皆さんの賜物だと感謝しています。

今年はまた、「トヨタ財団」様の助成もあり、「防災活動」の分野でも実に多くの方々との連携のチャンスをいただきました。「震災をつなぐ全国ネットワーク」に参加したこともあり、「レスキューストックヤード」をはじめ「名古屋災害ボランティア連絡会」や名大福和先生やNSLの皆さんとの「つながり」は「確実な災害対策の構築にむけていよいよ確実に、一歩前にすすみ始めたな！」との実感を思わせるものとなって、責任の重さを感じているところです。又、賛助会員の企業の皆様からも前述の学会や「記念講演&フェア」や「災害フェスタ in 港」で実に多大な協力をいただいたのも今年の特徴です。

名古屋TVの「アレルギーの防災報道」はこうしたつながりの中で実現したもので、改めて「人と人のつながりの大切さ」を噛みしめています。

4月27日(日)には総会を開き、来年度の事業計画を議論していただきます。来年度は何とか「認定NPO」が承認されるよう期したいと思っています。

先日、名古屋国税局に行き、事前の相談をしてまいりました。旧来の認定NPOの条件では難しいところがありますが、今国会でNPO法が改正されれば、何とか条件をクリア出来そうです。

もちろん、会計実務上の整理や事業内容の透明性を高めないとはいけませんが・・・。そうした実務上のこともさることながら「会員に向けたサービスや事業が50%以上占めると」公益性を損ない認定されないとのこと。一方で、事業をやると収益性があるとこれもダメで、会員から会費を取って会員向けのサービスをするともそれも一定の制約を受けるとのことでした。というわけで「認定NPO」の壁は相当に高いということが税務署の方と話してみても分かりました。

会費も、事業収入もなく「寄付」で成り立つ、「税金を納めない」NPOは「認定される」というわけです。一方、税金を納める「NPO」は「認定」される壁は高いという矛盾に満ちた「認定NPO」制度ですが、個人の方や企業の皆様の寄付を受けやすくしようとするにはなんとしても「認定NPO」が必要で、その

実現に向けて事業内容などの透明性を高める努力をすすめたいと思います。
引き続き皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

5. アレルギーの会の活動紹介 『豊田アレルギー児ママの会』

豊田の会は、何年か前にアレルギーを持つ子どものお母さんが、豊田市のこども家庭課の保健師さんに相談した事により立ち上がった会です。これからも自治体の方と良い関係を保ちながら長く継続させていきたいと思っています。

定例会 月に一回 第三月曜日(祝日の場合は第二月曜日になります)

場所 豊田市役所 東庁舎 3階

会費 一ヶ月 50円(初回見学は無料)

会員数 約 20人

活動内容 アレルギーの子どもを持つ保護者との交流・情報交換

会への参加は原則として豊田市在住の方で、アレルギー疾患であるという医師の診断を受けている方のみです。

(代表 深津和美)

6. 会員からみなさまへ

はじめまして。私は清須市で薬剤師をしています。昨年より小児のアレルギーについて勉強しています。勉強しているうちに薬の事以外にも悩まれている事があるのではないかと悩まれている方や親御さんは何を求めているのか？という疑問が生まれてきました。

薬剤師としての関わりについて考えているときに、アレルギー支援ネットワークの存在を知りました。アレルギー大学で勉強することはもとより、悩んでいる方々の生のお話、意見を伺うことでより現実に沿ったサポートができるようになりたいと思っています。

よろしくお願いいたします。

ヤハタ

7. 2008年「第3期アレルギー大学」日程の変更など(最新版)

第3期アレルギー大学にお申しただいき、ありがとうございます。

1. 三重会場の申し込みを受け付けています。

三重会場の申込を既に締め切りましたが、まだ、三重各会場の定員に余裕があり、引き続き申込を受け付けています。詳しくは、事務局 園木までお尋ねください。

お申込の方は、fax(050-1369-8790)でお送りください。よろしくお願いいたします。

2. 愛知(名古屋)の調理実習(8月実施)会場について

2008年5月1日現在、第7会場の予定です。

変更の場合は、メールマガジンのお知らせ、また、お申込の方に fax などでお知らせします。6月初旬には、決定します。

アレルギー支援ネットワーク 事務局 園木

Tel / fax 050-1369-8790 (Tel : 18 時迄、fax : 22 時迄)

8. ホームページのお知らせから

A) 食物アレルギーひやりはっと事例集

<http://www.allenet.com/taisaku/indexn.html>

B) 第3期アレルギー大学「調理実習献立一覧」

<http://www.allenet.com/blog/event/2008%20alle-dai%20tyouri-kondate%202008.03.12.pdf>

C) 最新版アレルギー大学日程のお知らせ

D) 「ぜん息」症状のある方へ モニター調査にご協力ください

http://www.allenet.com/blog/event/2007/11/post_17.html

E) 「防災・救援ネットワークシステム」への登録のお願い

http://www.allenet.com/blog/event/2007/11/post_18.html

9. ボランティア・スタッフ募集

ボランティア・スタッフを募集します

《アレルギー支援ネットワークでは、ボランティア・スタッフを募集しています》

・パソコン(ワード、エクセル、アクセス、お絵かきなど)が得意な方

・イラストなどを描くのが得意な方

・何でもやってみたいなという方

・イベント、フェアなどを手伝ってくださる方

まずは、ご連絡ください。お待ちしております。

詳しいことは、事務局までお問い合わせください。

【問い合わせ】NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局 (担当：中西)

FAX : 0564-55-5702 e-mail : info@allenet.com

10. アレルギー支援ネットワーク一般会員募集します

《アレルギー支援ネットワークでは、一般会員を募集しています》

詳しくは、<http://www.allenet.com/>

「支援ネットについて」の「会員の特典・入会書」をお読みください。

【問い合わせ】NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局 (担当：中西)

FAX : 0564-55-5702 e-mail : nakanishi@allenet.com

★皆さんのお近くで、アレルギーに関心、興味をお持ちの方、アレルギーでお悩みの方がいらっしゃるようでしたら、「アレルギー支援ネットワーク・メールマガジン無料登録」をご紹介ください。

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは、asn-mailmagazin@alle-net.com（担当：園木）までお願いします。また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。（メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。）

★このメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、事務局担当(園木)sonoki@alle-net.comまでお尋ねください。

★会員のみなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇ 444-0802 愛知県岡崎市美合町三ノ久保 13-3, 103

▽TEL/FAX : 0564-55-5702 ▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----◆☆